



2023

2022

新型コロナウイルス対策支援を実施

2021

マザーシェルター（妊産婦の待機施設）建設完了

ハフィール（ため池）改修プロジェクト開始

2020

オンムサマーマ村に井戸を建設

2019

ザンビアで活動を開始

アルテケラット村に井戸を建設

2018

ワッドアブサレー区で3棟の診療所の建設完了

アルセレリア村の古井戸改修完了

2017

熊本地震支援を開始

2016

国連WFPとの協働で栄養改善事業を開始

2015

スポーツ大会で歯科検診を実施

2014

ワッドアブサレー区にて巡回診療事業を開始

2013

マンスーラ村で診療所建設

スーダンの医療従事者を日本へ招聘し研修を実施

2012

ワッテルハディ村に井戸を建設

2011

東日本大震災支援活動を開始

村落助産師育成事業を実施

2010

小学校校舎を増築して女の子の学ぶ場を提供

2009

シェリフ・ハサバツラ村の古井戸を改修

キッズサッカースクールを開校

2008

住民基本調査と妊婦健診を実施

シェリフ・ハサバツラ村での診療所運営

2007

ロシナンテス設立、スーダンでの医療支援をスタート

2006

理事長の川原尚行が外務省を辞職

2005

皆さまのご支援のおかげで、ロシナンテスは設立15周年を迎えることができました。

認定NPO法人ロシナンテス

〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1-35 北九州市立商工貿易会館7F TEL:093-521-6470 FAX:093-521-6471 ✉ info@rocinantes.org

私たちNPO法人「ロシナンテス」の名前は、小説「ドン・キホーテ」に出てくるドン・キホーテが乗る痩せ馬のロシナンテに由来しています。

「私たち一人一人は痩せ馬ロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まり、ロシナンテになれば、きっと何かできるはずだ!」と考え、

「ロシナンテス」と名付けました。今後もこれを信念として一步一步歩んで参ります。

認定NPO法人
ロシナンテス
年次報告書

2021年度



応援してくださる皆さまも

ロシナンテスは今年、設立15周年を迎えることができました。節目となる年は、昨年に引き続いてのコロナ禍ではありましたが、スーダン、ザンビアで日本人スタッフが常駐し本格的に事業を再開できるようになりました。これもひとえに皆様のご支援のおかげであります。心から感謝を申し上げます。

スーダンでは、2019年に30年間大統領に君臨したバシル氏が失脚し、軍部と文民からなる暫定政権を設立し選挙の準備を行なっていました。しかし2021年10月に、政権を手放すことを恐れる軍部が文民トップで首相を務めていたハムドック氏を追放するという軍事クーデターを引き起こしました。軍事政権に反対を唱える国民のデモがいまだに継続しています。さらにスーダンはアフリカ連合(AU)から文民政権ができるまで参加資格剥奪を宣言されました。これを受けて日本政府も現行政府を承認しておらず、スーダンは厳しい局面が続きます。

「ロシナンテス」の一員です

一方、ザンビアは昨年大統領選挙があり、現職で中国寄りのルング氏が、中国とは距離を置く政策を主張するヒチレマ氏に敗北するという結果になりました。この政権移譲は大きな混乱もなく行われました。しかし、ロシナンテスの事業を行うにあたって協議できていた保健省幹部は交代するなど我々も少なからず影響を受けています。

世界を見るとロシアのウクライナ侵攻があり、混迷を極めている状態です。そのような中にあっても、困っている人たちに手を差し伸べる、医療を十分に受けられない地域の人たちに医療を届けるという気持ちに何ら変わりはありません。15周年を迎えるにあたり、設定したテーマは「初志貫徹」でした。今後も志を持ち続けながら、挑戦的なことも行なっていこうと考えています。

私たちの組織名「ロシナンテス」は、小説「ドン・キホーテ」に出てくる痩せ馬のロシナンテに由来しています。「一人ひとり痩せ馬ロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まりロシナンテスになればきっと世界を笑顔にできる。」私たちはそう考えています。

ロシナンテスを応援してくれている人たち、スーダンやザンビアの人たちも含めて、全ての人たちがロシナンテスの一員です。みんなで力を合わせて、どんな地域にも医療を届けて行きましょう。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役
川原尚行



ロシナンテスとは

病院がない。医者がいない。

途上国には、厳しい現実がまだまだ存在します。

ロシナンテスは、そのような地域に暮らす人たちに医療を届ける活動を続けています。医療施設のない村々を回って医療を提供し、国や地域と協力しながら診療所をつくり、給水所の整備や学校建設、栄養改善など、包括的な保健事業を整備することで、現地の人たちだけで医療を継続できる仕組みづくりをしています。

ひとはみんなの為に、
みんなはひとりの為に



MISSION

〈ミッション〉

使命・役割

病院が無いなどの理由で、必要な医療が受けられない地域に、医療が届く仕組みを整備することで、一人でも多くの命を救う。そして、誰もが健やかに生きることができる環境をつくる。

VISION

〈ビジョン〉

目指す将来像

支援した地域の人たちが、「医療」を自分たちのものとし、地域の人たちだけで医療を継続できる仕組みが根付いている世界。

VALUE

〈バリュー〉

活動理念

目の前で困っている人を助ける
家族の絆と地域の和を大切にする
ひとはみんなの為に、
みんなはひとりの為に



「初志貫徹」をテーマに掲げた2021年

2021年、ロシナンテスは15周年を迎えることができました。
これまで応援してくださったすべての皆さまへ感謝申し上げます。

代表の川原は、外務省の医務官としてアフリカ・スーダンに赴任した際に、政治事情により医療の届かない住民たちに出会います。しかし、日本政府は当時内戦中のスーダンへの援助を停止しており、目の前で苦しむスーダンの患者さんを診察することが許されませんでした。多くの子どもがマラリアやコレラで亡くなるのを目の当たりにしながら何もできないもどかしさに、官僚としての限界を痛感。2005年に外務省を辞し、2006年に設立したのがロシナンテスです。

16年以上活動を続ける中で、やり方も変わってきました。ロシ

ナンテスが活動を行うアフリカの村落部では、広い地域に村が点在しており、医療を受けることが困難な「無医村」が数多く存在します。そのため、下痢や肺炎、マラリアなど、適切な処置があれば問題ないはずの病気で命を落とす人も多いためです。

設立当初は、川原本人がこうした村々を回り直接医療を提供する活動を行ってききました。しかしそれでは、川原がいなくなった後に何も残らないと考え、現在は、支援した地域の人々が「医療」を自分たちのものとし、地域の人たちだけで医療を継続できる仕組みが根付くようにするための仕組みづくりを行っています。

支援者の皆さまよりいただいた メッセージを一部ご紹介いたします！

「いつも私達の想いを実現して下さりありがとうございます。クーデターのニュースを耳にし、胸を痛めました。平和活動は一進一退、難しいもので、思うようにいかないこともあるかと思いますが、ずっと応援しています。」
平和のヘルメちゃん 様

「アフリカの地は政情不安定要因がありますが、どうぞ無理なさらず活動していただくよう祈念いたします。来年がロシナンテスの皆様にとって明るく希望に満ちた年になりますように！応援しております。」
菅野 様

15周年記念キャンペーン

150人の仲間募集キャンペーン 達成！

ここからまた走り続けるために、2021年4月1日～5月1日の間に、月1,000円～の寄付で応援する「チーム・ロシナンテス」の仲間を新たに150人募集するキャンペーンを実施し、156名の方に仲間になっていただくことができました。

15周年記念イベント

15周年を記念して、これまでご縁のあった様々な方をお招きした対談イベントを実施しました。

- 夫・川原尚行、父・川原尚行とは
ゲスト：理事長川原のご家族
- 「さださんにとっての社会貢献」を聴く
ゲスト：さだまさしさん(シンガー・ソングライター、小説家)
- ロシナンテスを通して知るNGOキャリア
ゲスト：ロシナンテス駐在職員・インターン
- 外国人との共生を考える
ゲスト：和田牧子さん(日本語教師、やさしい日本語講師)
- 組織としての社会貢献
ゲスト：ハローデイ株式会社、魚町商店街振興組合、
トップ保険サービス株式会社
- 「フォトグラファー内藤さんの原動力」を聴く
ゲスト：内藤順司さん(フォトグラファー)



医療が継続する仕組み作りは、皆さまなしでは目指せませんでした



ザンビア事業部
田中陽介

皆様の温かいご支援の賜物で2019年に始めたザンビア事業も少しずつ形になっています。例えば、21年には妊婦が安心して出産できるマザーシェルターの建設、早期に妊婦の異常を発見できるエコーの導入を進めました。結果、出産を求める妊婦の数が増えたり、彼らの危険な兆候をいち早く発見できるようになりました。22年は更に活動を広げます。医療が継続する仕組み作りは私たちのテーマであり、皆様の15年の支援なしには目指せないものでした。この機会に感謝を伝えつつ、今後も皆様に支持される団体であるよう努めてまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

チームの一員であることを誇りに思います



ザンビア事業部
セシリア・チベタ

ザンビアでの事業である、妊産婦ケア事業のチームの一員であることを誇りに思うと共に、この機会を頂いていることを大変嬉しく思っております。2021年のムワブラ地域でのマザーシェルターの建設により自宅出産数が減少しました。また、地域の母子保健ボランティアの活動によって多くの女性が出産や育児に関する正しい知識を身に付けることができました。これまでザンビアでの安全なお産に寄与する事業へのご支援をいただいた皆様に感謝いたします。日本の皆さま、ジコモクワンビリ!(ありがとうございます!)

15周年からさらにその先へ



スーダン事業部
池田裕美

中断していた事業を再始動するところから始まった今年度ですが、ようやく準備が整いつつあった2021年10月にクーデターが起こり、国際社会の中でスーダンの孤立が深まったり、情勢がさらに不安定になったりするなど、困難も多くありました。そのような中、日本の支援者の皆さまや現地のスタッフ、関係者のご協力のおかげで、何とか事業に着手することができました。また、事業地を訪問する中で、これまでのロシナンテスの活動の成果が現地に根付いていると実感した場面もありました。一進一退が続くスーダンの情勢ですが、これまで15年間培ってきた日本・スーダンの方々との繋がりを大切にしながら、引き続き活動を続けて参ります。

困難な中での前進を嬉しく思っています



スーダン事業部
タグワ

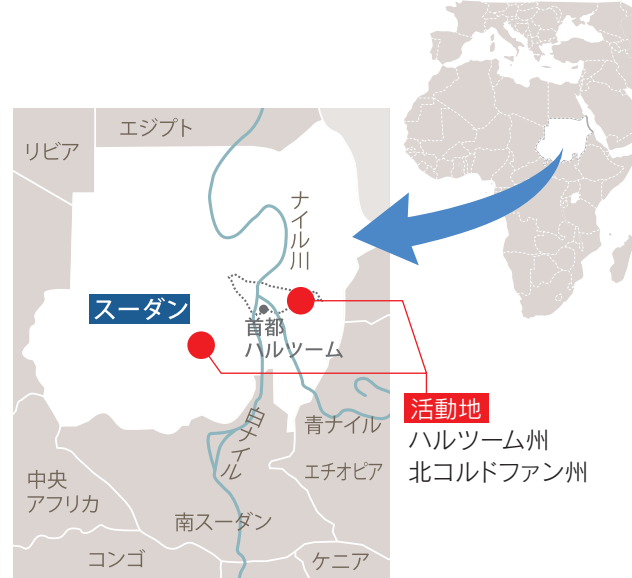
一昨年より続く、スーダンの不安定な情勢や新型コロナの影響は、事業を進める上で大きな障壁となり、事業中断を余儀なくされてきました。しかし、今年度は、十分に「医」が整備されていない地域で、新型コロナや感染症予防についての地域保健人材育成事業を実施することができました。また、中断していた水(ハフィール)、学校事業を再開することができ、嬉しく思っています。地域のみなさんをお待たせする形になりましたが、行政や地域住民とともに計画した事業をしつかり実施していきたいと思っています。

ロシナンテスの活動

[スーダン事業]

コロナ禍も政変も乗り越える
スーダンの人々の強さを信じて。

スーダンの国土の大半は砂漠ですが、その広大な砂漠には、診療所も井戸もない村々が点在しています。こうした地域に医療や清潔な水を届けることで、人々の暮らしを改善していきます。



01 水事業

「安全な水が命を救う。」

ロシナンテスが建設したワッド・シュウエイ村の診療所での水の問題を解消するため、地域の水源であるハフィール(雨水貯水用池)の水量確保と水質改善を目指すハフィール改修事業。

試掘を終え、掘削を開始

掘削可能なエリアを確認するための複数個所の試掘を終え、掘削に着手しました。途中で硬い岩盤にあたり、追加の機材が必要になったりしましたが、間もなく掘削作業が完了する予定です。

水不足に水質汚染… 厳しい乾季の状況

ワッド・シュウエイ村では、6～9月の雨季に降る雨をハフィールに貯水し、飲料水や生活用水として利用する方法がとられています。この地域には地下水がないことが過去の調査で分かっており、ハフィールが唯一の水源ですが、動物の侵入によって水が汚染されてしまう、深さが十分でないために、乾季が終わるころには水が干上がってしまうなどの課題を抱えています。本事業では、下記のような改修を行うことで、地域の水の課題を解決することを目指しています。



掘削予定の深さを体感する理事長川原

改修内容：

- 既存のハフィールの横に新しく深いハフィールを追加することで、十分な水量を貯められる環境を作る
- 家畜が侵入して水を汚染しないよう、フェンスや家畜用の水飲み場を設置する
- 緩速砂ろ過による浄水システム、および貯水タンクに水をくみ上げるための動力であるソーラーパネルを設置し、タンク内にきれいな水を貯め、必要なタイミングで取水できるようにする

ハフィール改修事業

期間	2021年2月事業再開～進行中 ※2022年6月完成予定
地域	ハルツーム州シャルガニール地域 ワッドアブサーレ区ワッド・シュウエイ村
対象	ワッド・シュウエイ診療所及び 近隣住民2,000人及び家畜8,000頭
現地パートナー機関	ハルツーム州水公社

深さを出すための掘削の様子



02 学校事業

「子どもたちの学びの場を守る。」

これまで、国連WFPと協働しての栄養改善事業、給水所の建設事業を行ってきたオムサマーマ区の学校で、厳しい環境にある学びの場を改善する事業を行っています。

現状の調査を元にプランを作成

州教育省やNGO管轄省庁と協議を重ね、6年制の小学校の建設・改修を行うことを決定しました。設計図や技術仕様書の作成、建設業者の選定などを行い、建設・改修への着手に向けて準備を行いました。

崩壊した壁、読めない黑板… 悪化する学びの環境

オムサマーマ区の学校は、校舎の壁が数か所崩落、黑板の老朽化が進んで文字が読みにくいなど様々な問題を抱えています。トイレや手洗い場といった衛生設備も整っておらず、「学校にトイレがないため学校に行きたくない」「トイレに行けず授業に集中できない」という声も聞かれています。そもそも生徒の数に対して校舎が足りておらず外で授業をせざるをえないクラスもあり、教室が使える場合も、子どもたちは猛暑の中ぎゅうぎゅうで授業を受けており、想像以上に厳しい環境です。

改修内容：

- 危険な状態にある校舎の改修及び新規建設を行い、子どもたちが安心して学べる環境を作る
- トイレや焼却炉、フェンスなど、衛生環境を整えることで、より衛生的な学び場を作る

学校改修事業

期間	2021年6月事業再開～進行中 ※2022年10月完成予定
地域	北コルドファン州オムダム・ハージ・アハメド地域オムサマーマ区
対象	小学校3校 (生徒約1200人、教員約20人)
現地パートナー機関	現地パートナー団体AORD

壁が崩れた校舎



教室に入りきらず外で学ぶ子どもたち



03 人材育成事業 「村落部でも正しい知識の普及を。」

ロシナンテスが巡回診療・診療所建設を実施してきたワッドアブサーレ区の村落部を対象に、新型コロナを始めとする感染症に関する人材育成事業を実施しました。

それぞれの村の代表に研修を実施

村内で感染症に関する正しい知識を有した人がいる状態を目指し、対象地域の村からそれぞれボランティアを選出しました。ボランティア向けに各種感染症の予防方法や心理的ケアの必要性、村での啓発活動を実施するためのノウハウなどについて研修を行い、研修を受けたボランティアが各村で地域住民に対して啓発活動を行いました。

ネットも電話も通じない地域の課題

首都ハルツーム州内においても、郊外に出るとインターネットや電話が困難な地域が広がっています。そういった地域では、新型コロナや感染症に関する知識が普及しにくい環境にあります。新型コロナの感染拡大が始まって1年半の時点で、知っていることはほとんどない、と話す地域の住民もあり、取り残されやすい地域への普及啓発が課題になっていました。



シャルガニール地域の行政庁舎での研修の様子

人材育成事業

期間 2022年3月

地域 ハルツーム州シャルガニール地域ワッドアブサーレ区

対象 対象地域の村のボランティア及び医療従事者18人

現地パートナー機関 シャルガニール地域緊急対策部門

04 その他 「医療従事者の身を守る。」

新型コロナ対策のため、風に立つライオン基金様から防護服(タイベック)200枚とKN95マスク3000枚をご寄贈いただきました。スーダン国内で一番感染者の多い首都ハルツーム州で、保健省から優先度が高いと要請があった2つの隔離センターに寄贈を行いました。



寄贈の様子

新型コロナ対策支援事業

期間 2021年12月

寄贈先 ジャブラ救急病院、オンドルマン教育病院

寄贈元 風に立つライオン基金

スーダン事務所トピック TOP 3 SUDAN TOPICK RANKING

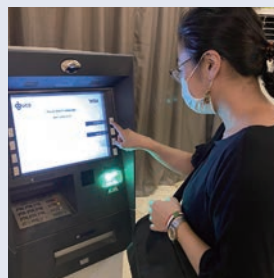
TOP 1 政変再び…

2021年10月25日早朝、再び軍事クーデターが発生しました。2019年、長年の独裁体制を敷いていたバシル政権が崩壊し、暫定政権による民主化を目指している中での出来事でした。先行きが不透明な状態が続いています。

TOP 2

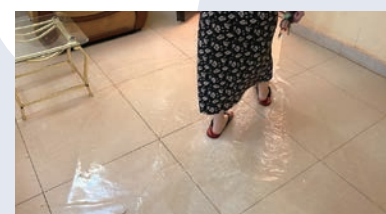
駐在員の悲願、クレジットカードの利用が可能に!

ホテルなどを含めクレジットカードが一切使えなかったスーダンで、サービスが開始されました!



TOP 3

事務所内で洪水…



断水の際に蛇口を開けっ放しにしまい、事務所内が水浸しに……。

ロシナンテスの活動

[ザンビア事業]

ここで産みたいと
思える診療所を目指して
ザンビアの妊産婦に寄り添う



ザンビアの村落部では、診療所へ行くのに歩いて何時間もかかる村も多く、出産には様々な危険が伴います。事業を通して、安心して出産できる環境を整えます。

01 マザーシェルター建設事業 「安心して出産できる環境を。」

宿泊施設がないために、陣痛が始まってから移動せざるを得なかったムワブラ地域で、出産前後に滞在できる施設「マザーシェルター」の建設を行いました。

マザーシェルターが完成

陣痛が起こる1週間程前から宿泊することで、確実に診療所で出産することができるようにすることを目指して進めてきたマザーシェルターの建設が完了しました。妊産婦が出産前後に宿泊できるスペースの他、付き添いの家族の滞在スペースや分娩室も併設されています。

マザーシェルターができたことで診療所の分娩率は39%から84%へと改善し、感染症や出血多量など、出産時の危険に対処できる可能性が高まりました。



妊産婦の宿泊スペース



3人目をマザーシェルターで出産したメリーさん

メリーさんコメント「1人目を産んだ時、誰もサポートしてくれませんでした。2人目を産んだ時は、経験のある職員がいてくれて心強かったです。でも、分娩室は共用で、プライバシーがありませんでした。分娩室が独立していて、出産後に十分に休める部屋が用意されていたマザーシェルターが一番快適でした。4人目はまたマザーシェルターで産みたいです。」



妊婦が歩いて出産に向かう道

陣痛が始まってから長距離を移動する妊婦たち

ムワプラ地域にある診療所ではお産を取り扱っていますが、入院できる施設がありませんでした。そのため、妊婦さんたちは、出産予定日に診療所に向かうしかありません。しかし、診療所が自宅から遠く、向かう途中で出産してしまうケースや、陣

痛が始まり移動が困難となり、自宅出産を選ばざるをえないケースが多くありました。また出産直後に自宅に帰るために、産後健診を受診していないお母さんたちが多くいました。

マザーシェルター建設事業

期間 2020年7月～2021年10月

地域 中央州チサンバ郡ムワプラ地域

対象 ムワプラ地域の妊産婦

02 エコー導入事業 「危険な状態の早期発見が可能に。」

待ち望まれていたエコー導入

2台のエコーとエコーに接続するためのノートパソコン1台およびタブレット2台を寄贈し、診療所職員を対象とした小型エコーによる診断方法の研修を行いました。エコーの導入によって、9か月を超えても逆子のままの状態を見つけるなどの成果を上げ、困難な出産が予想されるケースは事前に大きな病院へ送る指導ができるようになりました。また5%未満だったエコー健診受診率も、90%以上に改善されました。

正確な診断が 難しい伝統的器具

ムワプラ診療所では、産前健診において、トラウベ聴診器と呼ばれる伝統的な診断器具と触診のみで診察を行ってきました。しかし、トラウベ聴診器だけでは、妊婦さんと赤ちゃんの正確な情報を得ることは難しく、相当な技術と経験が必要でした。そのため、出産まで危険な状態を把握できないままだったというケースが発生していました。



トラウベ聴診器を手に持つ看護師

エコー導入事業

期間 2021年12月

地域 中央州チサンバ郡ムワプラ地域

対象 ムワプラヘルスポスト職員2名、ムワプラ地域の妊婦

エコー健診の様子
これまでほとんど見られなかった
父親の同伴も増えました

03 ヘルスボランティア活動改善事業 「地域の強みを活かす。」

ムワプラ地域のような村落部での安全な出産を支えるヘルスボランティア「SMAG」の活動の改善を目指す事業を行っています。

活動計画作成や研修をサポート

SMAGを対象に、妊婦健診の必要性や母体の安全確保についての研修を行いました。また、今後1年間の活動計画作成するワークショップを実施し、誰が欠けても滞りなく活動が継続できるよう、異なる役割を輪番で回す仕組みや、診療所スタッ

フとのコミュニケーションの強化についても取りまとめました。

活動の質と量が課題

SMAGは、妊産婦の産前・産後の健診を促したり、5歳未満の乳幼児に対する健診をサポートしたりと、地域を巡回し妊産婦へ適切なアドバイスをする役割を担っています。しかし、トレーニングを受けずに活動を行っている人がいること、活動を続ける人が減ってきていることから、活動の質と量をあげる必要が出てきていました。



母体の安全確保について学ぶSMAG

ヘルスボランティア活動改善事業

期間 2021年3月～2022年3月

地域 中央州チサンバ郡ムワプラ地域

対象 ムワプラ地域のSMAG

04 ヘルスボランティア用自転車寄贈事業 「ボランティアの負担を減らす。」

SMAGが行う活動の一つに、地域の妊婦の自宅を訪問し、啓発活動や妊婦の状況を確認するというものがあります。しかし、ムワプラ地域は農村部に位置するため、家屋が点在しており、徒歩で巡回を行うことが容易ではありませんでした。そのため、27台の自転車を地域に寄贈することで、SMAGの巡回活動の効率化をサポートしました。

SMAG活動用自転車寄贈

期間 2021年7月21日

地域 中央州チサンバ郡ムワプラ地域

対象 ムワプラ地域のSMAG



ザンビア事務所トピック TOP3 ZAMBIA TOPICK RANKING

TOP1 総選挙

ザンビアで5年に1度の総選挙が行われました。若者を含む国民の選挙への関心度の高さが伺え、日本との意識の違いを感じる一幕となりました。

TOP2 杉本さんの 定年退職

活躍してくださっていた杉本さんが定年退職されました。大きな痛手ですが、引き続き出張ベースで事業に関わってくださる予定です。



TOP3 事務所の庭の アボカド不作

例年に比べ急に収穫量が減り、職員で取り合いになりました。実のなる時期もおかしくなるなど、アボカドの木の不調を感じます…



ロシナンテスの活動
[国内での活動]

「創立50周年記念表彰」
の受賞者に

公益財団法人 社会貢献支援財団様の「創立50周年記念表彰」の受賞者として、理事長の川原が選ばれました。過去10年の受賞者から5名が改めて選ばれたもので、川原は、平成22年度社会貢献者表彰で受賞していました。



川原よりメッセージ

このたび、社会貢献者支援財団から創立50周年特別表彰をされました。これも我々の医療支援活動を支えてくださる支援者の皆さまをはじめ、応援して下さる多くの方々のおかげです。心から感謝申し上げます。

私は2010年に表彰を受けましたが、表彰されたことで社会的信用を得た、と実感

したエピソードがあります。

2011年に東日本大震災の後、医療支援などの活動を始めましたが、地域住民の中に入り込んで支援活動を行うスタイルだったために、「川原には政治的、宗教的な背景があるんじゃないのか？」と一部の方に怪しまれました。しかし、しばらくして住民の方から「おらはあんだのこど誤解しとった。あんだは表彰されでだのだね。」と声をかけてもらったのです。怪しいので

はないかと思って調べたところ、社会貢献者表彰で表彰されているのを見つけて安心したとのことでした。

この表彰のおかげで東北の方に心の底から受け入れてもらったようなものです。

今後も、スーダンそしてザンビアのために頑張ってもらいます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人としての認定資格を更新しました

ロシナンテスは、2012年01月16日から認定NPO法人としての認定を受けていますが、このたび認定資格の更新を無事に終えることができました。ご協力いただきました皆さま、そして日頃よりロシナンテスを支えてくださるご支援者の皆さまへ心より感謝申し上げます。

そもそも認定NPO法人とは？

『認定NPO法人』とは、NPO法人のうち「一定の基準を満たしている」と所轄庁（都道府県・政令市）が認めた法人のことです。現在国内では50,860団体中1,231団体が認定NPO法人として認められています。NPO法人と認定NPO法人の最も大きな違いは、ご寄付が税額控除など税制上の優遇措置の対象となることです。

税制優遇とは、寄付をした個人が確定申告を行うことで、最大約50%が還付される寄付金控除が適用になるというものです。法人の皆さまにも、「特別損金算入限度額」が適用されます。ご寄付に支えられて活動している団体にとっては本当に大きなこの優遇措置を受けられるようにするためには、

- 広く多くの方々から支持を受けている
- 活動や組織運営が法令や内部規定に基づき適正に行われている
- 適切な情報公開が行われている

など、高い公益性が求められます。これらの状態をチェックするために、5年ごとに更新手続きを行い所轄庁から認定を受け直す必要がありました。

経理担当者コメント

最初に認定を受けたときからではありますが、今回の一連の作業を通して、税制上の優遇措置という形で社会からご支援を頂戴しているということに対しての緊張感と誇りを新たにしました。引き続き公益性の高い組織であれるよう、日々の努力を積み重ねていきます。

[ご支援いただいた法人の皆さま]

【支援企業】

- あかつき株式会社
- 医療法人うかじ小児科医院
- エムスタイルジャパン株式会社
- オイコスチャーチ
- 社会保険労務士法人大竹事務所
- 有限会社お菓子のリーフ
- 株式会社オレスコーポレーション
- 神尾公認会計士事務所
- 北九州ゾンタクラブ
- 貴布禰総本宮 貴船神社
- 公立学校共済組合 九州中央病院
- 医療法人社団黒崎整形外科病院
- グリーン在宅クリニック
- グンゼ(株)グンゼラブアース倶楽部
- 五陵会
- 西東みはる税理士事務所
- 宗教法人西蓮寺ダーナの会
- 株式会社産業保健コンサルティングアルク
- 株式会社サンレー
- J.S.Foundation
- 舌騒がせな奴_士彩夢
- 弁護士法人清水法律事務所
- 株式会社鈴木工務所
- 有限会社千望荘
- SOMPOちきゅう倶楽部(SOMPOホールディングス株式会社)
- 医療法人東耀会
- トップ保険サービス株式会社
- 内藤医院
- 長瀬産業株式会社
- 医療法人社団寿会永山医院
- 医療法人社団撫子高松メディカルクリニック

- 医療法人ふらて会西野病院
- 日本新薬株式会社(カフェテリアプラン募金)
- 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
- 株式会社ハル犬猫病院
- 株式会社ブランカ
- 北海道通信ビル株式会社
- 公益財団法人 毎日新聞西部社会事業団
- マルシン産業株式会社
- 有限会社丸裕
- 医療法人 弓皮ふ科
- ようき屋本舗
- 株式会社義徳工業
- 臨済宗妙心寺派
- 株式会社ワーキングハセガワ
- 有限会社ワークス

【助成金・副賞】

- 公益財団法人社会貢献支援財団
- 社会福祉法人西日本新聞民生事業団

【サービス協力等】

- 風に立つライオン基金
- サンビット株式会社
- 品川イーストクリニック
- 株式会社 STYZ
- 株式会社セールスフォース・ジャパン
- ソフトバンク株式会社
- つなぐ書店
- TMコミュニケーションサービス株式会社(お宝エイド)
- Readyfor株式会社

[ご支援いただいた法人の声]

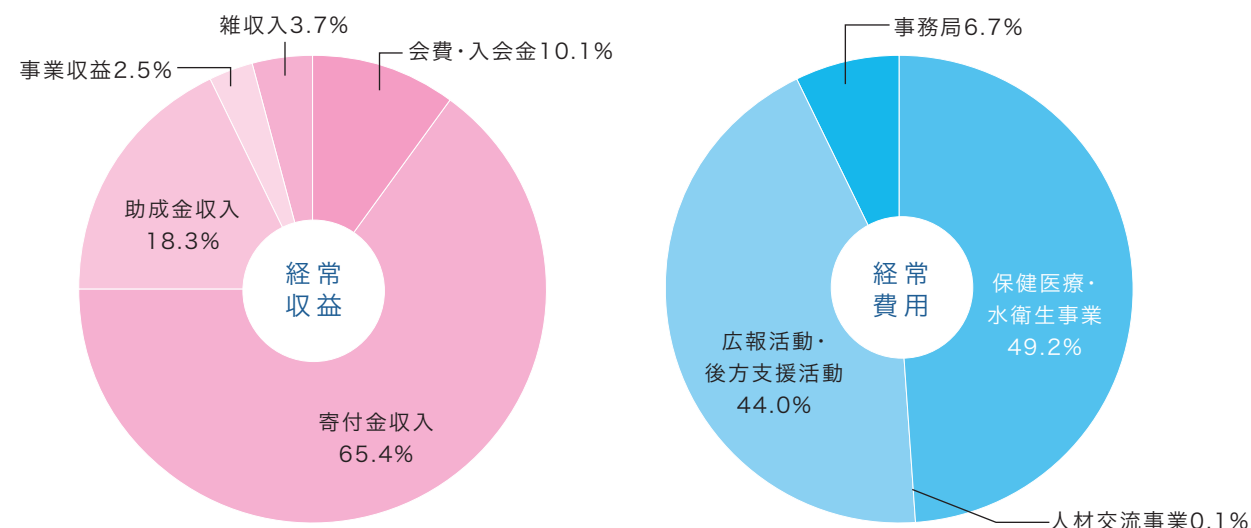
サンビット株式会社 クラウドソリューション部 第1グループ 高近浩一様

地域社会への貢献

弊社は福岡・佐賀を拠点とするIT企業です。私の所属する部署は「クラウドで地方を元気に!」というテーマを念頭に活動しております。主にアフリカへの医療支援活動されているロシナンテス様に少しでもお力添え出来ればと思い、バックオフィスでご利用されている支援者管理システムの保守サポートをさせていただいています。現在のコロナ禍で活動が制限されている中、精力的に活動されているロシナンテス様をこれからも応援していきます。



[会 計 報 告]

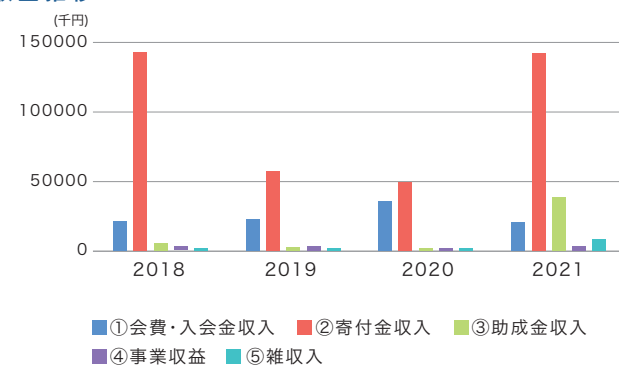


活動計算書

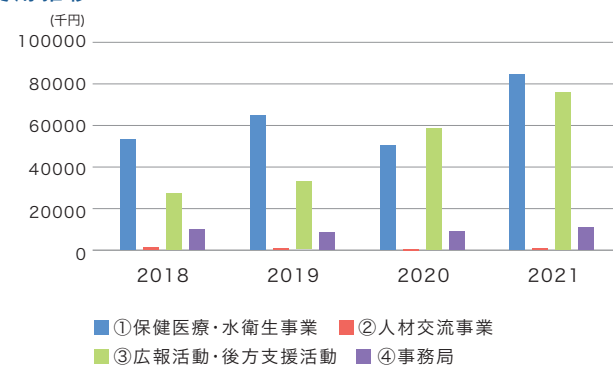
(単位:円)

経常収益	①会費・入会金収入	21,828,716
	②寄付金収入	141,750,642
	③助成金収入	39,765,459
	④事業収益	5,394,635
	⑤雑収入	7,978,812
	経常収益計(A)	216,718,264
経常費用	①生活改善事業(保健医療事業、水衛生事業)	84,996,255
	②交流推進事業(人材交流事業)	117,672
	③広報活動・後方支援活動	76,134,134
	④事務局	11,591,949
	経常費用計(B)	172,840,010
法人税(C)		81,000
当期正味財産増減額(A-B-C)		43,797,254
前期繰越正味財産額		185,980,075
次期繰越正味財産額		229,777,329

収益推移



費用推移



寄付で支援

ロシナンテスの活動は、皆さまからのご寄付で支えられています。

継続的に支援

月1,000円・年3,000円からご支援いただけます

①クレジットカード／ウェブサイトよりお手続きください。

<https://www.rocinantes.org/support/donate/member/>

②銀行口座自動振替／所定の申込用紙を送付しますので、

ロシナンテスまでご連絡ください。



継続的に支援
ウェブサイトへ

今回のみ支援

①クレジットカード／ウェブサイトよりお手続きください。

<https://www.rocinantes.org/support/donate/single/>

②銀行振込／以下の口座にお振込みください。③郵便振替／以下の口座をご利用ください。

銀行名: 福岡銀行

支店名: 三萩野支店

口座番号: 普通預金 1733240

口座名: 特定非営利活動法人ロシナンテス

郵便振替口座: 01720-3-74330

口座名: NPO法人ロシナンテス



今回のみ支援
ウェブサイトへ

その他の支援

他にも様々な形での
ご支援方法がございます



古本で支援



物品で支援



パソコン購入で支援



携帯を通じて支援



法人のご寄付



電気を通じて支援



遺贈・相続財産のご寄付



その他の支援
ウェブサイトへ

詳細はこちら

<https://www.rocinantes.org/support/>

活動を知る・伝える

私たちが取り組む課題を知り、
伝えていただくことも大きなご支援です



メールマガジンを読む

<https://www.rocinantes.org/mailmagazine/>



報告書・会報を読む

<https://www.rocinantes.org/about/archive/>



イベントに参加する

<https://www.rocinantes.org/news/event/>



講演映像を見る

<https://www.rocinantes.org/support/dvd/>



SNSをチェックする



Facebook



Twitter



Instagram



YouTube

[組 織 体 制]

役 員 一 覧

理 事 長	川 原 尚 行	理 事	片 山 憲 一
副理事長	竹 中 賢 治	理 事	高 山 義 浩
		理 事	武 藤 義 博
監 事	樋 上 弥 寿 子	理 事	海 原 六 郎
監 事	神 尾 康 生	理 事	星 野 賢 一 郎

組 織 概 要

名 称	特定非営利活動法人ロシナンテス
略 称	認定NPO法人ロシナンテス
設 立	2005年10月(NPO法人設立 2006年5月)
所 在 地	〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1番35号 北九州市立商工貿易会館7階

[2021年度 メディア紹介一覧]

【 新 聞 】

- 日経産業新聞(7/26)「ICTでアフリカに医療を」
- 読売新聞(9/10)「ザンビア お産支える 妊婦待機 シェルター整備」
- 毎日新聞(10/9)「アフリカ関心を 川原さんが講演 毎日・世論フォーラム」
- 東京新聞(11/30)「繰り返す新変異株 オミクロン出現 途上国支援不足のツケ」
- 茨城新聞(12/20)「スーダン、内戦や貧困 現地医師が茨城の中高生にオンライン講演」

【 ラ ジ オ 】

- KBC九州朝日放送(4/28)「PAO～N」
- FMひがしくるめ(7/1)「鈴木実穂のonlyわん!」
- FM福岡(22/1/19)「MORNING JAM」
- FM福岡(22/3/30)「MORNING JAM」

【 雑 誌 ・ 広 報 誌 ・ 書 籍 ・ W E B メ デ ィ ア ・ そ の 他 】

- KITAKYUSHU SDGs Action 北九州市SDGs地域副読本／北九州市教育委員会
- 小倉御坊 永照寺だより Vol.206 2021年6月／浄土真宗本願寺派 小倉御坊 永照寺
- ganas「ワクチン接種の完了率が0.4%のスーダン、打つと不妊になる」との噂が影響？」
- 福岡ふかほりメディアささっとー「SNSで不妊デマ拡散 アフリカのワクチン事情に見る「丁寧な説明の大切さ」」
- 市政だより北九州 令和3年12月15日号／北九州市
- 第107回小倉高校明陵同窓会総会冊子／福岡県立小倉高等学校明陵同窓会
- Reading Insight「Dr. Naoyuki Kawahara and Rocinantes」
- 千葉商科大学人間社会学部「ソーシャる Vol.6」
- 国際開発ジャーナル「国際協力キャリアガイド2021-22」
- ふるさとWish／九州朝日放送「One for all, All for one!「医」で世界中を笑顔に
- ロシナンテス 15年の軌跡(前編)～ふるさとWish北九州市～
- Yahoo!ニュース「「医」で世界中を笑顔に! ロシナンテス 15年の軌跡」

[2021年度 講演会・イベント実績]

【 講 演 会 等 】

- 川 原 尚 行
- (5/8) 英国開発学勉強会「IDDP第7回勉強会「国際保健とその展望」」
- (8/15) 特定非営利活動法人ヒトの教育の会「ヒトの教育フォーラム2021」
- (8/28) 九州大学東京同窓会「SummerFesta」
- (10/8) 毎日・世論フォーラム
- (11/6) 医療と宗教 第8回勉強会
- (12/9) 長崎大学「ウィズ・コロナイベント『風に向かって立つ』」さだまさし氏・高田明氏との鼎談
- (12/19) 茨城県教育庁・次世代グローバルリーダー育成プログラム
- (12/23) 九州大学医学科特別講義
- (22/2/18) 小倉ロータリークラブ例会卓話(北九州市)

立 花 香 澄

- (11/15) 千葉商科大学人間社会学部(千葉県)

【 広 報 イ ベ ン ト 】 ※すべてオンライン開催

- (4/10)【15th対談企画】夫・川原尚行、父・川原尚行とは【15th対談企画】「さださんにとっての社会貢献」を聴く
- (4/19)【15th対談企画】ロシナンテスを通して知るNGOキャリア
- (4/22)【15th対談企画】外国人との共生を考える
- (4/28)【15th対談企画】組織としての社会貢献
- (6/5) 2020年度活動報告会
- (8/18) 診療所に安全な水をースーダン活動報告会
- (9/8) 安心して出産できる環境を目指してーザンビア活動報告会
- (10/10)【15th対談企画】「フォトグラフアー内藤さんの原動力」を聴く
- (12/17) 安心・安全な出産のための「マザーシェルター」完成報告会
- (22/2/17) ハフィール事業の進捗報告ースーダン活動報告会

【 動 画 配 信 】

- 「ロシナンテの小部屋」月1回(ご支援者様限定)